

社是 子どもの感性を育てる児童文化の研究と普及・啓発（協会定款より）	東児協ニュース 第5号（総会報告） 令和3（2021）年9月15日	発行所：特定非営利活動法人 東京児童文化協会 発行人：副理事長 脇 恵 編集者：大嶋 英二
--	---	--

会員の皆様へ

令和3年9月15日

特定非営利活動法人 東京児童文化協会
副理事長 脇 恵

東京児童文化協会は「東京児童文化研究会」として1965（昭和40）年に、東京都内で子ども達の健全育成のために活動する有志によって設立されました。前小菅理事長と私が皆様のご支援をいただいてスタートしたものです。現状を鑑み、暫時、私が会の代表者を務めさせていただきます。ご了承の程、お願い申し上げます。

1、総会報告

8月31日に事務局にて書面総会を行いましたので下記にご報告いたします。

記

会員数25（回答23）

- ・第一号議案から第五号議案まで

承認 22 ・一部承認 1（付帯意見あり）

- ・第六号議案（役員選出（案））

承認 21 ・否認2（理事長を決める必要あり）

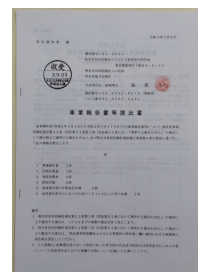
※修正 名簿の後藤様の備考欄の「理事」は「正会員」に

※矢部誠一郎様は今回、退会を希望されましたので、名簿より削除いたします。

～長い間にわたり、当協会へご支援、ご指導くださりありがとうございました～

- ・第七号議案（定款の変更）

承認 23



上記をもちまして書面総会結果とし、令和二年度事業報告として、特定非営利活動促進法第29条及び特定非営利活動促進法施行条例第4条の規定に基づき、東京都知事に関係書類を提出します。

2、東児協会計報告（会費）

9/2、現在ですが、16名の会費納入、別途寄付金として11,000円、口座送付していただきました。ありがとうございました。

3、書面総会の付帯意見

多くは東児協への励ましの言葉でしたが、今後の活動への協力の申し出などございました。これらを元に進めてまいります。なお、さらに、ご意見がございましたら、下記事務局までご連絡ください。

4、おわりに

事務局（大嶋）は文書（印刷物）の取りまとめ、編集は比較的得意です。レクのインストラクターの資格はありますが、東京児童文化協会についてはまだまだ門外漢です。

現在、脇副理事長に指導していただきながら、事務局が新宿区ということもあり、宇田川理事、内山理事に相談、協力を仰いで東児協の活動を進めています。皆様におかれましてもご意見やご提案は遠慮なくこちらまでお寄せください。

事務局 090-6482-8078（大嶋）

メール：info@tokyoidobunka.com

【おしらせ】

動画サイトYouTubeにペープサート、宇田川光雄演出「日天さんと月天さん」の映像をアップロードしました。サイト：<https://youtu.be/RTeApRUJ1YY> になりますが、

東京児童文化協会



で検索すると、NPO法人東京児童文化協会：<https://www.tokyojidobunka.com/>のウェブサイトがあります。そこの新着情報の「日天さんと月天さん」にマウスを合わせて押すとYouTube画面に入ります。ちょっと大変かもしれませんが是非ご覧下さい。

また、フェイスブックのサイトでも情報を流しています。
<https://www.facebook.com/facepasutasan>



←スマホから
2次元バーコード
読み取りで・・・

今後の考え方

「新型コロナが落ち着いてから、対面での会議を経て決めたいと考えていましたが、当分収まりそうもありませんので、主だった者とのメールでのやりとりで今後の展開方法を考えました。定款にありますように児童文化の研究と普及・啓発が課題である本協会は、会員の力を結集してニュースを作り上げることと今までの活動を延長発展させることがポイントだと思うのです。」

- 1、前小菅理事長と事務局が展開してきた新宿区での活動の継続。
- 2、会員相互の知恵を出し合い・本ニュースを年4回発行する。
会員は自分の得意な領域を4回に分けて展開する形をとる。たとえば、
 - ① 愛知の長谷川実彰さん知多の寺子屋活動
 - ② 新潟の恩田正身さん糸魚川の「こども育成・アジサイ農園活動」
 - ③ 松本豊さん（横浜市子連会長）には、「地区のジュニアリーダーを生かす」
 - ④ 千葉の鋸南町の福原さんには、「鋸南町の子ども会活動」
 - ⑤ 盛岡の田端さんには、「地域の若い育成者を発掘する」
 - ⑥ 千葉佑さんには「子どもたちと歌って遊ぼう」歌の展開方法について
 - ⑦ 脇さんの「ワキワキゲームで遊ぼう」ゲームの支援方法について
 - ⑧ 会員の皆様の「日常活動」について（シリーズ）
- 3、動画サイトYouTube活動の発展（新しい東京児童文化協会活動の周知方法）
 - ① エコクラフトを提供する。内山さんと大嶋さんでコンビを組み日常生活の周りにある物でクラフトを展開する。作った物で遊ぶ展開を楽しむ。「ウッチー&パスタのエコクラフト＝作って遊びぼう＝」シリーズ
 - ② 児童文化財の発展「ペープサート」を楽しく作る。カートリッジ式ペープサートでいろいろなお話を作り上げよう。「うださんのカートリッジ式ペープサート」日天さん月天さん映像・尻尾をとられたオオカミ・こぶとりじいさん・・・しりとりパズル・二文字しりとりなど
- 4、研究
松本豊さんの児童文化研究「保田の活動」「近江の活動」をまとめる。
内山さんのエコクラフト「こんな物で遊べるなんて」
宇田川光雄さんの「ペープサート活動 人形の面白さ展開」
- 5、その他「私と児童文化協会との出会い」
会員が展開したいことを記載、発表する

「こんなことを考えて見ました。皆様の力を結集して、児童文化の研究と普及・啓発に努めたいと思います。」

※事務局としましては、情報の発信と東京児童文化協会の取り組みを次世代への財産として記録していくお手伝いをしたいと思います。